

# 「STUDY GUIDE 2022」 修正部分について

※「STUDY GUIDE」は入学年次のみ配布のため、記載内容に修正があった部分のみ、この冊子にまとめて掲載しています。

## 【本冊子について】

◎本冊子では、在学生に対して、すでに配布されている『STUDYGUIDE2022』に記載されている事項について、修正があった部分をまとめたものです。

◎本冊子は『STUDY GUIDE』同様に重要なものですので、必ず内容を確認し、必要な部分については『STUDY GUIDE』とともに保存しておいてください。

## 【注意事項】

※この冊子は主に「授業」「資格取得」に関する変更を掲載しています。  
なお、「資格・検定」の変更部分については、この冊子には掲載されていませんので、最新版の『STUDY GUIDE』を大学HPより参照してください。  
また、その他の項目についても同様に最新版の『STUDY GUIDE』を参照してください。

※『STUDY GUIDE』に記載されている内容、およびこの冊子に記載されている変更点は、履修登録や資格取得、卒業に関わる大変重要なものですので、漏れなく確認してください。

**2022 年度より変更があった部分**

国際学部

カリキュラムマップ・規程等

# 追手門学院大学 国際学部カリキュラムマップ (P10-11)

人材養成目的										
国際学部										
ア 英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる人材を養成する。										
イ 国際共通語である英語の高い運用能力を習得し、国際社会や国際事情に関する幅広い知識の理解と様々な物事の見方や分析の仕方及び問題発見や課題解決の方法の習得に加えて、国際的視野や国際感覚を身に付ける。										
国際学科										
ア 英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる人材を養成する。										
イ 国際共通語である英語の高い運用能力を習得し、国際社会や国際事情に関する幅広い知識の理解と様々な物事の見方や分析の仕方及び問題発見や課題解決の方法の習得に加えて、国際的視野や国際感覚を身に付ける。										
ウ 卒業後の進路は、高度な英語運用能力と国際社会や国際事情に関する幅広い知識を身に付けて、国内企業はもとより、政府関係機関や国際非政府組織などの国際機関をはじめ、外資系企業や多国籍企業などで幅広く活躍することが期待される。										
1. 国際学のための基礎的・応用的な実践的能力		2. 国際学的なものの見方・捉え方の基礎			3. 基礎を土台とした専門分野の発展的な知識			4. 関心領域と視野の拡大		
ディプロマポリシー(再表現)	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことができる。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。グローバルな場でのコミュニケーション活動において求められるICTの基礎的なスキルを必要に応じて適切に実践することができる。	修得した分野別の専門的な知識をグローバル社会の実際の場で応用的かつ実践的に用いることができる			海外体験を通して高い英語運用能力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらに応用的に活用することができる。				
科目区分	専門演習科目、専門研究科目	専門基礎科目	専門関連科目	専門基幹科目	グローバルリベラルアーツ科目群	専門展開科目	未来デザイン&イノベーションスタディーズ科目群	免許科目群	留学・フィールドワーク科目群	留学生科目
4年次	WA11403 卒業研究 WA11402 プロジェクト 4 WA11401 プロジェクト 3									
3年次 または 3年次以上	WA11302 プロジェクト 2 WA11301 プロジェクト 1	WA21302 English 6(English for Conversation) WA21301 English 5(English for Qualification)			WA32307 国際・地域言語表現論(特殊講義) WA32306 国際・地域交流論(特殊講義) WA32305 国際・地域文化関係論(特殊講義) WA32304 国際・地域言語表現論(展開) WA32303 国際・地域交流論(展開) WA32302 ICTとイノベーション WA32301 多文化マネジメント論	WA33306 グローバル言語特殊講義Ⅳ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅲ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅱ WA33304 グローバル言語特殊講義Ⅰ	WA33301 国際開発支援論特殊講義Ⅱ WA33302 グローバルビジネス論特殊講義Ⅱ	WA41301 (多文化マネジメント論)		WA43302 ビジネス日本語Ⅱ WA43301 ビジネス日本語Ⅰ
2年次 または 2年次以上	WA11204 自主研究Ⅱ WA11203 自主研究Ⅰ WA11202 Global Studies 4 WA11201 Global Studies 3	WA21204 Advanced English 4(アカデミックライティング演習) WA21203 Advanced English 3(資格英語演習) WA21202 English 4(Speech & Presentation) WA21201 English 3(Communication)	WA22206 情報セキュリティ WA22205 テキスト解析 WA22204 デジタルコンテンツ開発演習 WA22203 データベース演習		WA32210 国際・地域文化関係論(展開) WA32209 グローカル論 WA32208 アメリカ歴史・文化講義 WA32207 イギリス歴史・文化講義 WA32206 米文学概論 WA32205 英文学概論 WA32204 英語学概説2 WA32203 英語学概説1 WA32202 英語学概説2 WA32201 英語学概説1	WA33302 国際開発支援論特殊講義Ⅰ WA33201 国際開発支援論Ⅳ	WA33204 グローバルビジネス論特殊講義Ⅰ WA33203 グローバルビジネス論Ⅳ	WA41212 (アメリカ歴史・文化講義) WA41211 (イギリス歴史・文化講義) WA41210 (国際・地域文化関係論(展開)) WA41209 (グローカル論) WA41208 (米文学概論) WA41207 (英文学概論) WA41206 (英語学概説2) WA41205 (英語学概説1) WA41204 (英語学概説2) WA41203 (英語学概説1) WA41202 (国際・地域文化関係論(基礎)) WA41201 (English 3(Communication))	WA42202 国際体験Ⅲ WA42201 国際体験Ⅱ	
1年次 または 1年次以上	WA11104 Global Studies 2 WA11103 Global Studies 1 WA11102 Global Seminar 2 W11101 Global Seminar 1	WA21104 Advanced English 2(クリティカルシンキング演習) WA21103 Advanced English 1(プレゼンテーション演習) WA21102 English 2(Reading & Writing) WA21101 English 1(Reading & Writing)	WA22102 数理・DS・AI 2 WA22101 数理・DS・AI 1					WA41102 (English 2(Reading & Writing)) WA41101 (English 1(Reading & Writing))	WA42103 国際体験Ⅰ WA42102 留学特別演習2 WA42101 留学特別演習1	WA43102 日本語演習2 WA43101 日本語演習1
必要要件	①専門基礎科目群: 専門基礎科目群は、掲げる科目の中から20単位以上を修得しなければならない。専門基礎科目群は、英語学習の基礎となる科目であるため、学部が履修を指定した時期に単位を修得できない者は、上位学年の科目の履修ができないことから、履修を指定された学年次に確実に修得することが求められる。 ②専門関連科目群: 専門関連科目群は、留学・フィールドワーク科目及びAI&ICT科目に区分され、留学・フィールドワーク科目は6単位以上(学部が指定した外国人留学生は4単位以上)、AI&ICT科目は8単位以上を修得しなければならない。 ③専門演習科目群: 専門演習科目群は、18単位以上を修得しなければならない。 ④専門研究科目群: 「卒業研究」は、原則として、4年次に全員が履修する科目とする。なお、詳細は国際学科履修細則に定める。			⑤フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群: フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群は、グローバルビジネス科目、国際開発支援科目、グローバル言語科目の3つのコンセントレーションパッケージに区分され、全ての区分において、それぞれに掲げる専門基幹科目から4単位以上、同専門展開科目から2単位以上の合計18単位以上を修得しなければならない。3つのコンセントレーションパッケージにおいて、理論と実践の往還の科目群を体系的に学び、更に自身の興味・関心に応じて①国際ビジネス、②国際開発支援、③英語プロフェッショナルのいずれかを自主研究やフィールドワークを履修し、より深化させてい。 ⑥グローバルリベラルアーツ科目群: グローバルリベラルアーツ科目群は、専門基幹科目、専門展開科目、特殊講義科目、関連科目の4つに区分され、各区分から所定の単位数として専門基幹科目から4単位以上、専門展開科目から4単位以上、特殊講義科目から8単位以上、関連科目から8単位以上の合計24単位以上を修得しなければならない。			⑦英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許取得に必要な「免許科目群」を置く。 ⑧留学・フィールドワーク科目は、原則として、学部が履修する学年次及び対象者、科目並びにクラスを指定する。			
カリキュラムポリシー(再表現)	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことを目的とする科目群。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく修得することを目的とする科目群。	グローバル社会におけるコミュニケーション活動の中で求められるICTの基礎的なスキルを修得することを目的とする科目群。	グローバル社会を取り巻く国際文化状況の本質を理解する際に必須となる専門的知識を基礎から応用まで修得することを目的とする科目群。			英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許取得に必要な科目群。		海外体験を通して、英語(外国人留学生の場合は日本語)を使用したコミュニケーション活動の実践・異文化理解・自国文化理解を促すことを目的とする科目群。	
アドミッションポリシー	① 英語をマスターして国際的に活躍したい者 ② グローバルな視野を持ち、そして自分で考え始めることのできる者 ③ 世界と日本の架け橋になりたいと志し、行動する者									

# 追手門学院大学 国際学部カリキュラムマップ (P10-11)

人材養成目的										
国際学部										
ア 英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる人材を養成する。										
イ 国際共通語である英語の高い運用能力を習得し、国際社会や国際事情に関する幅広い知識の理解と様々な物事の見方や分析の仕方及び問題発見や課題解決の方法の習得に加えて、国際的視野や国際感覚を身に付ける。										
国際学科										
ア 英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国際的諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図り、国際社会に貢献することができる人材を養成する。										
イ 国際共通語である英語の高い運用能力を習得し、国際社会や国際事情に関する幅広い知識の理解と様々な物事の見方や分析の仕方及び問題発見や課題解決の方法の習得に加えて、国際的視野や国際感覚を身に付ける。										
ウ 卒業後の進路は、高度な英語運用能力と国際社会や国際事情に関する幅広い知識を身に付けて、国内企業はもとより、政府関係機関や国際非政府組織などの国際機関をはじめ、外資系企業や多国籍企業などで幅広く活躍することが期待される。										
1. 国際学のための基礎的・応用的な実践的能力		2. 国際学的なものの見方・捉え方の基礎			3. 基礎を土台とした専門分野の発展的な知識			4. 関心領域と視野の拡大		
ディプロマポリシー(再表現)	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことができる。		グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。グローバルな場でのコミュニケーション活動において求められるICTの基礎的なスキルを必要に応じて適切に実践することができる。			修得した分野別の専門的な知識をグローバル社会の実際の場で応用的かつ実践的に用いることができる			海外体験を通して高い英語運用能力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを活用することができる。	
	科目区分	専門演習科目、専門研究科目	専門基礎科目	専門関連科目	専門基幹科目	専門展開科目	専門展開科目	免許科目群	留学・フィールドワーク科目群	留学生科目
4年次	WA11403 卒業研究 WA11402 プロジェクト 4 WA11401 プロジェクト 3					グローバルリベラルアーツ科目群	フューチャーデザイン&イノベーションスタディーズ科目群			
3年次 または 3年次以上	WA11302 プロジェクト 2 WA11301 プロジェクト 1	WA21302 English 6(English for Conversation) WA21301 English 5(English for Qualification)				WA32307 国際・地域言語表現論(特殊講義) WA32306 国際・地域交流論(特殊講義) WA32305 国際・地域文化関係論(特殊講義) WA32304 国際・地域言語表現論(展開) WA32303 国際・地域交流論(展開) WA32302 ICTとイノベーション WA32301 多文化マネジメント論	WA33306 グローバル言語特殊講義Ⅳ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅲ WA33305 グローバル言語特殊講義Ⅱ WA33304 グローバル言語特殊講義Ⅰ WA33301 国際開発支援論特殊講義Ⅱ WA33302 グローバルビジネス論特殊講義Ⅱ			WA41301 (多文化マネジメント論)
2年次 または 2年次以上	WA11204 自主研究Ⅱ WA11203 自主研究Ⅰ WA11202 Global Studies 4 WA11201 Global Studies 3	WA21204 Advanced English 4(アカデミックライティング演習) WA21203 Advanced English 3(資格英語演習) WA21202 English 4(Speech & Presentation) WA21201 English 3(Communication)	WA22206 情報セキュリティ WA22205 テキスト解析 WA22204 デジタルコンテンツ開発演習 WA22203 データベース演習			WA32210 国際・地域文化関係論(展開) WA32209 グローカル論 WA32208 アメリカ歴史・文化講義 WA32207 イギリス歴史・文化講義 WA32206 米文学概論 WA32205 英文学概論 WA32204 英語学概説2 WA32203 英語学概説1 WA32202 英語学概説2 WA32201 英語学概説1	WA33302 国際開発支援論特殊講義Ⅰ WA33201 国際開発支援論Ⅳ WA33204 グローバルビジネス論特殊講義Ⅰ WA33203 グローバルビジネス論Ⅳ			WA41301 (多文化マネジメント論) WA41212 (アメリカ歴史・文化講義) WA41211 (イギリス歴史・文化講義) WA41210 (国際・地域文化関係論(展開)) WA41209 (グローカル論) WA41208 (米文学概論) WA41207 (英文学概論) WA41206 (英語学概説2) WA41205 (英語学概説1) WA41204 (英語学概説2) WA41203 (英語学概説1) WA41202 (国際・地域文化関係論(基礎)) WA41201 (English 3(Communication))
1年次 または 1年次以上	WA11104 Global Studies 2 WA11103 Global Studies 1 WA11102 Global Seminar 2 W11101 Global Seminar 1	WA21104 Advanced English 2(クリティカルシンキング演習) WA21103 Advanced English 1(プレゼンテーション演習) WA21102 English 2(Reading & Writing) WA21101 English 1(Reading & Writing)	WA22102 数理・DS・AI 2 WA22101 数理・DS・AI 1							WA41102 (English 2(Reading & Writing)) WA41101 (English 1(Reading & Writing)) WA42103 国際体験Ⅰ WA42102 留学特別演習2 WA42101 留学特別演習1 WA43102 日本語演習2 WA43101 日本語演習1
必要要件	①専門基礎科目群: 専門基礎科目群は、掲げる科目の中から20単位以上を修得しなければならない。専門基礎科目群は、英語学習の基礎となる科目であるため、学部が履修を指定した時期に単位を修得できない者は、上位学年の科目の履修ができないことから、履修を指定された学年次に確実に修得することが求められる。 ②専門関連科目群: 専門関連科目群は、留学・フィールドワーク科目及びAI&ICT科目に区分され、留学・フィールドワーク科目は6単位以上(学部が指定した外国人留学生は4単位以上)、AI&ICT科目は8単位以上を修得しなければならない。 ③専門演習科目群: 専門演習科目群は、18単位以上を修得しなければならない。 ④専門研究科目群: 「卒業研究」は、原則として、4年次に全員が履修する科目とする。なお、詳細は国際学科履修細則に定める。			⑤フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群: フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群は、グローバルビジネス科目、国際開発支援科目、グローバル言語科目の3つのコンセントレーションパッケージに区分され、全ての区分において、それぞれに掲げる専門基幹科目から4単位以上、同専門展開科目から2単位以上の合計18単位以上を修得しなければならない。3つのコンセントレーションパッケージにおいて、理論と実践の往還の科目群を体系的に学び、更に自身の興味・関心に応じて①国際ビジネス、②国際開発支援、③英語プロフェッショナルのいずれかを自主研究やフィールドワークを履修し、より深化させてい。 ⑥グローバルリベラルアーツ科目群: グローバルリベラルアーツ科目群は、専門基幹科目、専門展開科目、特殊講義科目、関連科目の4つに区分され、各区分から所定の単位数として専門基幹科目から4単位以上、専門展開科目から4単位以上、特殊講義科目から8単位以上、関連科目から8単位以上の合計24単位以上を修得しなければならない。			⑦英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許取得に必要な「免許科目群」を置く。 ⑧留学・フィールドワーク科目は、原則として、学部が履修する学年次及び対象者、科目並びにクラスを指定する。			
カリキュラムポリシー(再表現)	グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことを目的とする科目群。	グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく修得することを目的とする科目群。	グローバル社会におけるコミュニケーション活動の中で求められるICTの基礎的なスキルを修得することを目的とする科目群。	グローバル社会を取り巻く国際文化状況の本質を理解する際に必須となる専門的知識を基礎から応用まで修得することを目的とする科目群。			英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通してグローバル社会に対する理解を深める、英語の教員免許取得に必要な科目群。		海外体験を通して、英語(外国人留学生の場合は日本語)を使用したコミュニケーション活動の実践・異文化理解・自国文化理解を促すことを目的とする科目群。	
アドミッションポリシー	① 英語をマスターして国際的に活躍したい者 ② グローバルな視野を持ち、そして自分で考え始めることのできる者 ③ 世界と日本の架け橋になりたいと志し、行動する者									

正

(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

履修区分	分野	授業科目	単位		配当年次				教職※1	要件			
			必修	選択	1	2	3	4					
必修	英語科目	English 1 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科	20単位以上			
		English 2 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科				
		English 3 (Communication)	4		○	○	○	○	科				
		English 4 (Speech & Presentation)	4		○	○	○	○	科				
		English 5 (English for Qualification)		2		○	○	○	○		学部が指定する者		
		English 6 (English for Conversation)		2		○	○	○	○		学部が指定する者		
		Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 3 (資格英語演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)	2		○	○	○	○	○				
選択必修	グローバルビジネス科目	グローバルビジネス論Ⅰ	2		○	○	○	○	○	4単位以上			
		グローバルビジネス論Ⅱ	2		○	○	○	○	○				
		グローバルビジネス論Ⅲ	2		○	○	○	○	○				
		グローバルビジネス論Ⅳ	2		○	○	○	○	○				
		グローバルビジネス論特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	○				
		グローバルビジネス論特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○	○				
		国際開発支援論Ⅰ	2		○	○	○	○	○		4単位以上		
		国際開発支援論Ⅱ	2		○	○	○	○	○				
		国際開発支援論Ⅲ	2		○	○	○	○	○				
		国際開発支援論Ⅳ	2		○	○	○	○	○				
国際開発支援論特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	○						
国際開発支援論特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○	○						
グローバル言語特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	○	6単位以上					
グローバル言語特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○	○						
グローバル言語特殊講義Ⅲ	2		○	○	○	○	○						
グローバル言語特殊講義Ⅳ	2		○	○	○	○	○						
選択必修	留学生科目	日本語演習1	2		○	○	○	○	○	2単位以上			
		日本語演習2	2		○	○	○	○	○				
		ビジネス日本語1	2		○	○	○	○	○				
		ビジネス日本語2	2		○	○	○	○	○				
		留学特別演習1	1		○	○	○	○	○		学部が認めた者		
		留学特別演習2	1		○	○	○	○	○		学部が指定する者		
		国際体験Ⅰ	4		○	○	○	○	○		学部が認めた者		
		国際体験Ⅱ	4		○	○	○	○	○		学部が認めた者		
		国際体験Ⅲ	4		○	○	○	○	○		学部が認めた者		
		国際事情	4		○	○	○	○	○		大学が認めた留学生専用科目		
選択必修	AⅠ&ⅠCⅡ科目	数理・DS・AⅠ1	2		○	○	○	○	○	4単位以上			
		数理・DS・AⅠ2	2		○	○	○	○	○				
		情報セキュリティ	2		○	○	○	○	○				
		テキスト解析	2		○	○	○	○	○				
		デジタルコンテンツ開発演習	2		○	○	○	○	○				
		データベース演習	2		○	○	○	○	○				
		必修	専門演習科目	Global Seminar 1	2		○	○	○		○	○	18単位以上
				Global Seminar 2	2		○	○	○		○	○	
				Global Studies 1	2		○	○	○		○	○	
				Global Studies 2	2		○	○	○		○	○	
Global Studies 3	2				○	○	○	○	○				
Global Studies 4	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト1	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト2	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト3	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト4	2				○	○	○	○	○				
選択必修	専門演習科目	卒業研究	4		○	○	○	○	○	-			
		国際・地域文化関係論(基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(展開)	2		○	○	○	○	○				
		多文化マネジメント論	2		○	○	○	○	○				
		グローバル論	2		○	○	○	○	○				
		英語学概論1	2		○	○	○	○	○				
		英語学概論2	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説1	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説2	2		○	○	○	○	○				
		英文学概論	2		○	○	○	○	○				
米文学概論	2		○	○	○	○	○						
イギリス歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○						
アメリカ歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○						

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

(2) 国際学部国際学科 国際文化専攻  
(イ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

履修区分	分野	授業科目	単位		配当年次				教職※1	要件			
			必修	選択	1	2	3	4					
必修	英語科目	English 1 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科	20単位以上			
		English 2 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科				
		English 3 (Communication)	4		○	○	○	○	科				
		English 4 (Speech & Presentation)	4		○	○	○	○	科				
		English 5 (English for Qualification)		2		○	○	○	○		学部が指定する者		
		English 6 (English for Conversation)		2		○	○	○	○		学部が指定する者		
		Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 3 (資格英語演習)	2		○	○	○	○	○				
		Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)	2		○	○	○	○	○				
選択必修	グローバルビジュアルコミュニケーション科目	国際・地域文化関係論(基礎)	2		○	○	○	○	○	4単位以上			
		国際・地域文化関係論(基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(展開)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(展開)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(展開)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(特殊講義)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(特殊講義)	2		○	○	○	○	○				
		ICTとイノベーション	2		○	○	○	○	○				
		多文化マネジメント論	2		○	○	○	○	○				
選択必修	国際文化専攻	英語学概論1	2		○	○	○	○	○	8単位以上			
		英語学概論2	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説1	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説2	2		○	○	○	○	○				
		英文学概論	2		○	○	○	○	○				
		米文学概論	2		○	○	○	○	○				
		イギリス歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○				
		アメリカ歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○				
		留学特別演習1	1		○	○	○	○	○				
		留学特別演習2	1		○	○	○	○	○				
選択必修	専門演習科目	留学特別演習1	1		○	○	○	○	○	-			
		留学特別演習2	1		○	○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅲ	2		○	○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅳ	2		○	○	○	○	○				
		国際体験Ⅰ	4		○	○	○	○	○				
		国際体験Ⅱ	4		○	○	○	○	○				
		国際体験Ⅲ	4		○	○	○	○	○				
		国際事情	4		○	○	○	○	○				
選択必修	AⅠ&ⅠCⅡ科目	数理・DS・AⅠ1	2		○	○	○	○	○	4単位以上			
		数理・DS・AⅠ2	2		○	○	○	○	○				
		情報セキュリティ	2		○	○	○	○	○				
		テキスト解析	2		○	○	○	○	○				
		デジタルコンテンツ開発演習	2		○	○	○	○	○				
		データベース演習	2		○	○	○	○	○				
		必修	専門演習科目	Global Seminar 1	2		○	○	○		○	○	18単位以上
				Global Seminar 2	2		○	○	○		○	○	
				Global Studies 1	2		○	○	○		○	○	
				Global Studies 2	2		○	○	○		○	○	
Global Studies 3	2				○	○	○	○	○				
Global Studies 4	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト1	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト2	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト3	2				○	○	○	○	○				
プロジェクト4	2				○	○	○	○	○				
選択必修	専門演習科目	卒業研究	4		○	○	○	○	○	-			
		国際・地域文化関係論(基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論(展開)	2		○	○	○	○	○				
		多文化マネジメント論	2		○	○	○	○	○				
		グローバル論	2		○	○	○	○	○				
		英語学概論1	2		○	○	○	○	○				
		英語学概論2	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説1	2		○	○	○	○	○				
		英語学概説2	2		○	○	○	○	○				
		英文学概論	2		○	○	○	○	○				
米文学概論	2		○	○	○	○	○						
イギリス歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○						
アメリカ歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○						

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

履修区分	分野	授業科目	単位		配当年次				教職※1	要件		
			必修	選択必修	1	2	3	4				
必修	専門基礎科目群	English 1 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科	20 単位以上		
		English 2 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	科			
		English 3 (Communication)	4		○	○	○	○	科			
		English 4 (Speech & Presentation)	4		○	○	○	○				
		English 5 (English for Qualification)		2		○	○	○	学部が指定する者			
		English 6 (English for Conversation)		2		○	○	○				
		Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	2		○	○	○	○				
		Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	2		○	○	○	○				
		Advanced English 3 (資格英語演習)		2		○	○	○				
		Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)		2		○	○	○				
選択必修	グローバルリベラルアーツ科目群	国際・地域文化関係論 (基礎)	2		○	○	○	○	科	4 単位以上		
		国際・地域交流論 (基礎)	2		○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (基礎)	2		○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論 (展開)	2		○	○	○	○	科			
		国際・地域交流論 (展開)	2		○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (展開)	2		○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論 (特殊講義)	2		○	○	○	○				
		国際・地域交流論 (特殊講義)	2		○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (特殊講義)	2		○	○	○	○				
		ICTとイノベーション	2		○	○	○	○				
選択必修	国際文化専攻	英語学概論1	2		○	○	○	○	科	8 単位以上		
		英語学概論2	2		○	○	○	○	科			
		英語学概説1	2		○	○	○	○	科			
		英語学概説2	2		○	○	○	○	科			
		英文学概論	2		○	○	○	○	科			
		米文学概論	2		○	○	○	○	科			
		イギリス歴史・文化講義	2		○	○	○	○	科			
		アメリカ歴史・文化講義	2		○	○	○	○	科			
		留学特別演習1	1		○	○	○	○				
		留学特別演習2	1		○	○	○	○				
選択必修	専門関連科目群	グローバル言語特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	学部が認めた者	-		
		グローバル言語特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅲ	2		○	○	○	○				
		グローバル言語特殊講義Ⅳ	2		○	○	○	○				
		国際体験Ⅰ	4		○	○	○	○	学部が認めた学生			
		国際体験Ⅱ	4		○	○	○	○				
		国際体験Ⅲ	4		○	○	○	○				
		国際事情	4		○	○	○	○	大学が認めた留学生専用科目			
		国際表現演習	4		○	○	○	○				
		国際コミュニケーション論	4		○	○	○	○				
選択必修	AI&ICT科目群	数理・DS・AⅠⅠ	2		○	○	○	○	学部が指定する者	4 単位以上		
		数理・DS・AⅠⅡ	2		○	○	○	○				
		情報セキュリティ	2		○	○	○	○				
		テキスト解析	2		○	○	○	○				
		デジタルコンテンツ開発演習	2		○	○	○	○				
		データベース演習	2		○	○	○	○				
		Global Seminar 1	2		○	○	○	○				
		Global Seminar 2	2		○	○	○	○				
		Global Studies 1	2		○	○	○	○				
		Global Studies 2	2		○	○	○	○				
必修	専門演習科目群	Global Studies 3	2		○	○	○	○	学部が指定する者	18 単位以上		
		Global Studies 4	2		○	○	○	○				
		プロジェクト1	2		○	○	○	○				
		プロジェクト2	2		○	○	○	○				
		プロジェクト3	2		○	○	○	○				
		プロジェクト4	2		○	○	○	○				
		自主研究Ⅰ	2		○	○	○	○	学部が認めた者			
		自主研究Ⅱ	2		○	○	○	○				
		専門研究科目群	卒業研究		4		○	○	○		学部が指定する者	-

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

## 国際学部履修細則

### I 一般的事項

- 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際学部規程、国際学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育等の資格取得に関する規程等に示されている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や時間割作成の手引き・シラバス等を参考にし、履修科目を決定すること。
- 同一限時に同時に開講されている科目は、重複して履修することができない。
- 授業科目のうちで、A、B、C等クラスの区別のあるものは、そのいずれか一つを選択し履修すること。ただし、履修する科目によっては、予め受講するクラスを指定する(以下、「受講指定」という。)場合がある。この場合は、原則として、受講指定されたクラスで受講しなければならない。
- (1) 各学期の履修上限単位数は、追手門学院大学履修登録に関する取扱基準に定める。  
(2) 資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。その他、成績評価が「認定」として単位付与される科目についても、この制限を受けない。
- 履修登録を所定の方法に従って、指定の期日までにすること。この手続きをしない場合には、単位を修得することができない。
- 国際学科の科目の一部(特に語学科目)は、カリキュラムの特性上、履修する順番を定めている科目がある。このため、該当する科目の単位修得ができなければ、原則、上位学年の科目を履修することができない。よって、指定された学年次において、確実に修得することが望まれる。

### II 学修計画

- 国際学科の学生は、在学中にどのような目標をもって、どのような学修・研究を行うかといったことを、入学時から常に主体的に考えなければならない。そのため、在学中に複数回にわたって、「学修計画書」を作成し提出すること。
- 学修計画書は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを確認のうえ、次の項目を踏まえて作成すること。
  - 語学力  
入学時の英語力を TOEIC 等により自ら把握すること。卒業時の目標とする英語運用能力を定め、それを表現させるために、各学年終了時点で目標スコアを定めること。これらを定期的に測定するべく、年に1回以上は、TOEIC 等の検定試験を自ら受験すること。グローバルスタディーズ専攻は TOEIC880 以上相当等、国際文化専攻は TOEIC650 以上相当等を卒業時の目標とすること。
  - 留学  
留学を希望する又はすでに予定している者は、学修計画を立てるうえで、留学する時期を定め、それを表現させるための計画を立てること。グローバルスタディーズ専攻の学生は、最低1回(推奨2回以上)の海外留学が必須である。国際文化専攻の学生は、1回以上の海外留学又は大学が用意する選抜型の留学やフィールドワーク等への参加を推奨する。
  - 1年次  
4年間の学生生活全体の計画を立て、2年次以降の専門的な学びに備え、学修目標を意識するとともに、高い英語運用力の習得に力を入れること。
  - 2年次  
この学年から所属する専攻ごとに専門的な学びが始まる。卒業時に身につけておきたい知識やスキルを再確認し、その実現に必要な科目を履修すること。加えて、3年次からの専門的な演習科目を見据えた学習の準備をすること。3年次及び4年次に所属する「プロジェクト」の分野の選考を意識しつつ履修・学修すること。
  - 3年次  
自身の専門分野の知識を深め、様々な体験に主体的に参加し、そこから学びを得ることを意識すること。加えて、国内外でのインターンシップには積極的に参加し、卒業後の進路を意識すること。
  - 4年次  
4年間の学びの集大成である卒業研究に取り組み、その成果を公開すること。それを卒業後の進路に結び付けていくこと。
- 学修計画書の様式や提出時期については、別途指示する。

### III 基礎教育科目

- 基礎教育科目は、国際学部規程第10条第1項に定めるとおり28単位以上を修得するものとする。なお、基礎教育科目は、1年次、2年次において確実に修得することが望まれる。
- ファウンデーション科目群
    - 初年次科目
      - 次の科目は、1年次に履修することが望ましい。  
「日本語表現」
      - 次の科目は、一部の学生を除き1年次に履修することが望ましい。  
「教務処理入門」
    - ②外国言語科目
      - 外国言語科目(英語)に掲げる科目のうち、次の科目を修得しなければならない。  
「総合英語1」  
「総合英語2」  
「Online English Seminar 1」  
「Online English Seminar 2」
      - 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国言語科目(日本語)から4単位以上を修得しなければならない。なお、英語、ドイツ語、フランス語、中国語は自由選択とする。
  - リベラルアーツ・サイエンス科目群に掲げる科目から、8単位以上を修得しなければならない。
  - 主体的学び科目群
    - 次の科目は、1年次に履修することが望ましい。  
「追手門アイデンティティ」
    - 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、次の科目を修得しなければならない。  
「日本事情1」  
「日本事情2」
    - その他の科目は次のとおり定める。
      - 別に定める放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大4単位までを卒業に必要な基礎教育科目の単位として認める。
      - 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大4単位までを卒業に必要な基礎教育科目の単位として認める。

### IV 学科科目

- 国際学科の開設する学科科目については、国際学部規程第10条第1項に定めるとおり70単位以上を修得しなければならない。なお、国際学科の学生が卒業に必要な単位の総数は基礎教育科目において規定された単位数とあわせて124単位以上である。
- 国際学科生は、入学時より国際学部規程第2条第3項に定める専攻に所属する。
- 国際学科生は、所属する専攻により、国際学部規程第11条の(1)もしくは(2)の卒業要件が適用される。
- 国際学科の学科科目は、国際学部規程第9条(別表Ⅰ)に掲げるとおりである。
- 学科科目は一部科目を除き、学科、専攻及び学生の必要に応じて、自由に選択することができる。ただし、科目によっては履修条件のほか、履修者数の制限やクラスを指定することがある。詳細は、履修登録に関するオリエンテーション等の資料を参照すること。
- 国際学科の学科科目は、専攻ごとに共通科目と専攻別科目に分かれる。詳細は以下に定

(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生

Table with columns: 履修区分, 分野, 授業科目, 単位 (必修, 選択), 配当年次 (1, 2, 3, 4), 教職※1, 要件. Rows include English 1-6, Global Business, International Development, Japanese, and Career courses.

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

(2) 国際学部国際学科 国際文化専攻

(イ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

Table with columns: 履修区分, 分野, 授業科目, 単位 (必修, 選択), 配当年次 (1, 2, 3, 4), 教職※1, 要件. Rows include English 1-6, International Studies, and Career courses.

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。



(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生

履修区分	分野	授業科目	単位		配当年次				教職※1	要件			
			必修	選択必修	1	2	3	4					
必修	専門基礎科目群	English 1 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	○	科	20 単位以上		
		English 2 (Reading & Writing)	4		○	○	○	○	○	科			
		English 3 (Communication)	4		○	○	○	○	○	科			
		English 4 (Speech & Presentation)	4		○	○	○	○	○	科			
		English 5 (English for Qualification)			2		○	○	○	○		学部が指定する者	
		English 6 (English for Conversation)			2		○	○	○	○		学部が指定する者	
		Advanced English 1 (プレゼンテーション演習)	2		○	○	○	○	○	○			
		Advanced English 2 (クリティカルシンキング演習)	2		○	○	○	○	○	○			
		Advanced English 3 (資格英語演習)			2		○	○	○	○			
		Advanced English 4 (アカデミックライティング演習)			2		○	○	○	○			
選択必修	グローバルリベラルアーツ科目群	国際・地域文化関係論 (基礎)	2		○	○	○	○	○	科	4 単位以上		
		国際・地域交流論 (基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (基礎)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論 (展開)	2		○	○	○	○	○	科			
		国際・地域交流論 (展開)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (展開)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域文化関係論 (特殊講義)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域交流論 (特殊講義)	2		○	○	○	○	○				
		国際・地域言語表現論 (特殊講義)	2		○	○	○	○	○				
		ICTとイノベーション	2		○	○	○	○	○				
選択必修	国際文化専攻	英語学概論1	2		○	○	○	○	○	科	8 単位以上		
		英語学概論2	2		○	○	○	○	○	科			
		英語学概説1	2		○	○	○	○	○	科			
		英語学概説2	2		○	○	○	○	○	科			
		英文学概論	2		○	○	○	○	○	科			
		米文学概論	2		○	○	○	○	○	科			
		イギリス歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○	科			
		アメリカ歴史・文化講義	2		○	○	○	○	○	科			
		留学特別演習1	1		○	○	○	○	○				
		留学特別演習2	1		○	○	○	○	○				
選択必修	専門関連科目群	グローバル言語特殊講義Ⅰ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者	-		
		グローバル言語特殊講義Ⅱ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		グローバル言語特殊講義Ⅲ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		グローバル言語特殊講義Ⅳ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際体験Ⅰ	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際体験Ⅱ	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際体験Ⅲ	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際事情	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際表現演習	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		国際コミュニケーション論	4		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
選択必修	AI&ICT科目群	数理・DS・A11	2		○	○	○	○	○	学部が指定する者	4 単位以上		
		数理・DS・A12	2		○	○	○	○	○	学部が指定する者			
		情報セキュリティ	2		○	○	○	○	○				
		テキスト解析	2		○	○	○	○	○				
		デジタルコンテンツ開発演習	2		○	○	○	○	○				
		データベース演習	2		○	○	○	○	○				
		Global Seminar 1	2		○	○	○	○	○				
		Global Seminar 2	2		○	○	○	○	○				
		Global Studies 1	2		○	○	○	○	○				
		Global Studies 2	2		○	○	○	○	○				
必修	専門演習科目群	Global Studies 3	2		○	○	○	○	○	学部が指定する者	18 単位以上		
		Global Studies 4	2		○	○	○	○	○	学部が指定する者			
		プロジェクト1	2		○	○	○	○	○				
		プロジェクト2	2		○	○	○	○	○				
		プロジェクト3	2		○	○	○	○	○				
		プロジェクト4	2		○	○	○	○	○				
		自主研究Ⅰ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		自主研究Ⅱ	2		○	○	○	○	○	学部が認めた者			
		専門研究科目群	卒業研究		4		○					学部が指定する者	-

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

国際学部履修細則

I 一般事項

- 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際学部規程、国際学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育等の資格取得に関する規程等に示されている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や時間割作成の手引き・シラバス等を参考にし、履修科目を決定すること。
- 同一学期に同時に開講されている科目は、重複して履修することができない。
- 授業科目のうちで、A、B、C等クラスの区別のあるものは、そのいずれか一つを選択し履修すること。ただし、履修する科目によっては、予め受講するクラスを指定する(以下、「受講指定」という)場合がある。この場合は、原則として、受講指定されたクラスで受講しなければならない。
- (1) 各学期の履修上限単位数は、追手門学院大学履修登録に関する取扱基準に定める。  
(2) 資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。その他、成績評価が「認定」として単位付与される科目についても、この制限を受けない。
- 履修登録を所定の方法に従って、指定の期日までにすること。この手続きをしない場合には、単位を修得することができない。
- 国際学科の科目の一部(特に語学科目)は、カリキュラムの特性上、履修する順番を定めている科目がある。このため、該当する科目の単位修得ができなければ、原則、上位学年の科目を履修することができない。よって、指定された学年次において、確実に修得することが望まれる。

II 学修計画

- 国際学科の学生は、在学中にどのような目標をもって、どのような学修・研究を行うかといったことを、入学時から常に主体的に考えなければならない。そのため、在学中に複数回にわたって、「学修計画書」を作成し提出すること。
- 学修計画書は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを確認のうえ、次の項目を踏まえて作成すること。  
(1) 語学力  
入学時の英語力を TOEIC 等により自ら把握すること。卒業時の目標とする英語運用能力を定め、それを表現させるために、各学年終了時点での目標スコアを定めること。これらを定期的に測定するべく、年に1回以上は、TOEIC 等の検定試験を自ら受験すること。グローバルスタディーズ専攻は TOEIC880 以上相当等、国際文化専攻は TOEIC650 以上相当等を卒業時の目標とすること。  
(2) 留学  
留学を希望する又はすでに予定している者は、学修計画を立てるうえで、留学する時期を定め、それを表現させるための計画を立てること。グローバルスタディーズ専攻の学生は、最低1回(推奨2回以上)の海外留学が必須である。国際文化専攻の学生は、1回以上の海外留学又は大学が用意する選抜型の留学やフィールドワーク等への参加を推奨する。  
(3) 1年次  
4年間の学生生活全体の計画を立て、2年次以降の専門的な学びに備え、学修目標を意識するとともに、高い英語運用力の習得に力を入れること。  
(4) 2年次  
この学年から所属する専攻ごとに専門的な学びが始まる。卒業時に身につけておきたい知識やスキルを再確認し、その実現に必要な科目を履修すること。加えて、3年次からの専門的な演習科目を見据えた学習の準備をすること。3年次及び4年次に所属する「プロジェクト」の分野の選考を意識しつつ履修・学修すること。  
(5) 3年次  
自身の専門分野の知識を深め、様々な体験に主体的に参加し、そこから学びを得ることを意識すること。加えて、国内外でのインターンシップには積極的に参加し、卒業後の進路を意識すること。  
(6) 4年次  
4年間の学びの集大成である卒業研究に取り組み、その成果を公開すること。それを卒業後の進路に結び付けていくこと。
- 学修計画書の様式や提出時期については、別途指示する。

III 基礎教育科目

- 基礎教育科目は、国際学部規程第10条第1項に定めるとおり28単位以上を修得するものとする。なお、基礎教育科目は、1年次、2年次において確実に修得することが望まれる。
- ファウンデーション科目群  
①初年次科目  
1) 次の科目は、1年次に履修することが望ましい。  
「日本語表現」  
2) 次の科目は、一部の学生を除き1年次に履修することが望ましい。  
「教務処理入門」  
②外国言語科目  
1) 外国言語科目(英語)に掲げる科目のうち、次の科目を修得しなければならない。  
「総合英語1」  
「総合英語2」  
「Online English Seminar 1」  
「Online English Seminar 2」  
2) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国言語科目(日本語)から4単位以上を修得しなければならない。なお、英語、ドイツ語、フランス語、中国語は自由選択とする。  
(2) リベラルアーツ・サイエンス科目群  
リベラルアーツ・サイエンス科目群に掲げる科目から、8単位以上を修得しなければならない。  
(3) 主体的学び科目群  
1) 次の科目は、1年次に履修することが望ましい。  
「追手門アイデンティティ」  
2) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、次の科目を修得しなければならない。  
「日本事情1」  
「日本事情2」  
(4) その他の科目は次のとおり定める。  
1) 別に定める放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大4単位までを卒業に必要な基礎教育科目の単位として認める。  
2) 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大4単位までを卒業に必要な基礎教育科目の単位として認める。

IV 学科科目

- 国際学科の開講する学科科目については、国際学部規程第10条第1項に定めるとおり70単位以上を修得しなければならない。なお、国際学科の学生が卒業に必要な単位の総数は基礎教育科目において規定された単位数とあわせて124単位以上である。
- 国際学科生は、入学時より国際学部規程第2条3項に定める専攻に所属する。
- 国際学科生は、所属する専攻により、国際学部規程第11条の(1)もしくは(2)の卒業要件が適用される。
- 国際学科の学科科目は、国際学部規程第9条(別表1)に掲げるとおりである。
- 学科科目は一部科目を除き、学科、専攻及び学生の必要に応じて、自由に選択することができる。ただし、科目によっては履修条件のほか、履修者数の制限やクラスを指定することがある。詳細は、履修登録に関するオリエンテーション等の資料を参照すること。
- 国際学科の学科科目は、専攻ごとに共通科目と専攻別科目に分かれる。詳細は以下に定

2022 年度より変更があった部分

心理学研究科

## ▶ 臨床発達心理士受験資格に関する指定科目

「臨床発達心理士」認定運営機構指定科目 及び単位数		本学開講科目及び単位数	
臨床発達心理学の基礎に関する科目	4	臨床発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
		生涯発達心理学演習	2
臨床発達支援の専門性に関する科目	4	発達進化特論	2
		臨床発達支援特論	2
認知発達とその支援に関する科目	4	神経生理学特論	2
		障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
言語発達とその支援に関する科目	4	言語発達特論	2
		言語発達支援論	2

(1) 本学心理学研究科博士前期課程心理学専攻生涯発達・生涯教育心理学コース又は社会・環境・犯罪心理学コースを修了していること

(2) 「基礎」と「専門性」を含む3つ以上の指定科目（1科目4単位）の単位を修得していること

(3) 200時間以上の臨床実習の経験を有すること

## ▶ 学校心理士受験資格 類型 1

「学校心理士」認定運営機構において定めた科目		対応する本学科目		単位数
コアとなる学問領域	学校心理士とそれを支える心理学的基盤	学校心理学	学校心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
		教授・学習心理学	教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
		発達心理学	臨床発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
			言語発達特論	2
臨床心理学	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2		
実務の領域	学校心理学的援助の実際	特別支援教育	障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
		生徒指導・教育相談、キャリア教育	ガイダンス特論（心の健康教育に関する理論と実践）	2
援助スキル領域	心理教育的援助サービスの理論と技法	心理教育的アセスメント（実習を含む）	発達教育アセスメント演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
		学校カウンセリング・コンサルテーション（実習を含む）	学校カウンセリング特論（心理支援に関する理論と実践）	2

(1) 本学大学院博士前期課程を修了していること

(2) 学校心理学に関する所定9科目18単位以上を修得していること